

NEWS RELEASE



2013年3月19日(火)

JMAAB (Japan MBD Automotive Advisory Board)

お問い合わせ先: JMAAB 事務局

担当/ 飯野 (MathWorks Japan)

Email: jmaab-office@mathworks.co.jp

JMAAB が 2013 年計測自動制御学会 (SICE) 制御部門パイオニア技術賞受賞

自動車制御システム開発に対するモデルベース開発(MBD)技術確立と、人材育成への貢献が認められる

JMAAB (Japan MBD Automotive Advisory Board、事務局: MathWorks Japan)は、2013 年計測自動制御学会 (SICE) 制御部門のパイオニア技術賞を受賞しましたことをお知らせします。

本賞は、SICE 制御部門が関与する科学技術および産業の分野において、今後の発展に大きく寄与すると期待される高い技術業績をあげた研究者・技術者・団体に与えられる賞で、JMAAB が進める「自動車制御システムに対するモデルベース開発」に関する一連の研究による制御技術の応用開拓への貢献が認められての受賞となりました。尚、本賞の団体としての受賞は JMAAB が初となります。

JMAAB は 2001 年に設立され、現在自動車メーカー12 社、ECU サプライヤー12 社の合計 24 社がコアメンバーとして参加・活動しています。自動車制御システム開発に対して、制御対象と制御装置のモデルを利用したモデルベース開発 (MBD: Model-Based Development) という開発プロセスを提案し、強かに推進してきました。特に、米 MathWorks 社の MATLAB/Simulink/Stateflow という製品を中心とした、統合開発環境の構築に大きく貢献しています。

また、人材育成の点でも、MBD 技術者のスキル基準とキャリア基準を定義し公開しています。各種講演会や数百名規模のオープンカンファレンス開催などにより、企業だけではなく、教育機関関係者などの参加を得て MBD の啓蒙と普及を推進しています。

今回の受賞にあたり、トヨタ自動車株式会社 理事 大島明氏ら JMAAB ボードメンバーは、次のように述べています。「この 10 年で、JMAAB はプラントモデリング環境、制御設計環境、検証

環境、適合環境、データマネジメント環境、要求・プロセス管理環境を体系化し、ガイドラインを公開することで、自動車制御システム開発における MBD という技術分野を確立しました。今回、これらの活動・貢献から受賞に至りましたことは、今後の制御システム開発において良いステップとなることを確信しています。」

また、SICE 制御部門副部門長で、MBD を強力に推進しているプラントモデリング部会（初代部会長）の中野和司氏（電気通信大学教授）は、「今回の受賞が、車載ソフト開発分野での生産性と品質向上へ大きく貢献したことと、JMAAB が企業間の壁を取り払った点が高い評価につながったと思います。」と述べています。

■JMAAB とは (<http://jmaab.mathworks.jp/>)

2001 年に、トヨタ自動車、日産自動車、本田技術研究所を発起人として、モデルベース開発 (MBD) の推進と、MATLAB/Simulink ベースの設計・開発環境をより発展させるために設立されたユーザ会。企業の壁を越えて「ツールでは協調、製品で競争」することを基本理念としている。コアメンバーとして 24 社（自動車メーカー12 社、サプライヤー12 社）が加入し、一般メンバーとしての登録者数は 2,800 名にのぼる。（いずれも 2013 年 2 月末時点） MathWorks Japan が事務局を務め、隔年で開催するオープンカンファレンスや、WEB サイトを用いた宣伝活動をサポートしている。